



2011

H. I. 盃選手権試合 全三菱庭球大会

平成23年10月14日・15日・16日

三菱東京UFJ銀行 武蔵野コート
東京海上日動 多摩コート
日本郵船 飛田給コート

三菱庭球同好会

目 次

H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について	2
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	3
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	7
大会次第	9
出場選手へのお知らせ	10
H. I. 盃選手権試合組合せ	13
女子ダブルストーナメント組合せ	13
男子ダブルストーナメント組合せ	14
130オトーナメント組合せ	15
120オトーナメント組合せ	16
東西対抗試合組合せ	17
時間およびコート時間割	18
大会会場案内図	21
懇親会会場案内図	26

お 知 ら せ

第3日目(10/16)出場の選手は、8:00から
銀行コートで開会式を行いますので極力
ご参集願います。

H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について

H. I. 盃選手権試合の歴史は、大正11年にまで遡ります。この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦彌太様より三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、イニシャルを戴き、「H. I. ロンドンカップ」と名付けられました。翌大正12年、このH. I. 盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合（H. I. 盃選手権試合）が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で80回を数えるに至っています。

これに先立ち、関東関西戦が大正5年から毎年開催されており、昭和27年の復活第1回H. I. 盃選手権試合／東西対抗戦（戦争の為昭和18年から中断）に際しては、新たに「100オトーナメント（45才以上ダブルス）」（以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」）が加えられ、又、昭和47年には岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして昭和58年より新たに65才以上のペアーによる「130オトーナメント」が設けられ、岩崎寛彌様からカップが寄贈されました。平成18年より、さらに「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。

これらのH. I. 盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が、「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ32社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。



第1回 H I 盃 (大正12年 東京・染井コート)

H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

I. 復活前

回数	年 度	開催地	委員長	H I 盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手捨二 (商事取締役)	岩永侃爾 (門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神 戸	山口泉吉 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山正男 (名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	岩永侃爾 (東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	神田道朝 (関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神 戸	山室宗文 (銀行常務取締役)	青木岩雄 (関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	牧野 元 (関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元 (関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	志村彦七 (中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神 戸	田中金之助 (倉庫取締役)	後藤 長 (中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長 (中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長 (中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井喬介 (重工社長)	石井小一郎 (関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			支那事変のため中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村彦七 (中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村彦七 (中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野文照 (関東・鋼材) <ダブルス>熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑 (関西・電機) <ダブルス>田村亮・扇山忠男	27	記録なし

II. 復活後

回数	年 度	開催地	委員長	H I 盃	130才	120才	女子ダブルス	東西対抗戦
1	1952 昭和27	東 京	石黒俊夫 (本社精算人)	藤倉五郎 (金商)	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神 戸	藤井深造 (新重工社長)	藤倉五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 (電機社長)	藤倉五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東 京	石黒俊夫 (地所社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大 阪	古村誠一 (金属鉱業社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東 京	高垣勝次郎 (商事社長)	藤倉五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大 阪	伊藤保次郎 (鉱業社長)	寺岡健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鉱業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東 京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東 京	桜井俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東 京	柴田周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大 阪	浜川友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東 京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東 京	藤岡信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東 京	千頭暎臣 (信託社長)	藤井道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大 阪	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東 京	河野文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東 京	野村義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (セント・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東 京	有吉義彌 (郵船社長)	藤井道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東 京	牧田与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤 ・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13分
20	1971 昭和46	東 京	田実 涉 (銀行会長)	大日方昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東 京	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東 京	中田乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東 京	古賀繁一 (重工会長)	宮川善文 (大日)		雨天中止	小島・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東 京	古賀繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)		田中・寛 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東 京	古賀繁一 (重工会長)	有沢三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		吉岡・佐久間 (キャタ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年度	委員長	H I 盃	130才	120才	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦	
30	1981 昭和56	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		樺原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33	
31	1982 昭和57	田部文一郎 (商事会長)	武田 彰 (商事)		中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分	
32	1983 昭和58	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22分	
33	1984 昭和59	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分	
34	1985 昭和60	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34	
35	1986 昭和61	田部文一郎 (商事会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38	
36	1987 昭和62	鈴木永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37	
37	1988 昭和63	鈴木永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止						
38	1989 平成元	鈴木永二 (化成会長)	岩原慎二 (化成)	川崎・寛 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39	
39	1990 平成2	鈴木永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分	
40	1991 平成3	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・樺原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35分	
41	1992 平成4	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分	
42	1993 平成5	飯田庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32	
43	1994 平成6	飯田庸太郎 (重工会長)	田村太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18分	
44	1995 平成7	飯田庸太郎 (重工相談役)	杉本長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止	
45	1996 平成8	飯田庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37	
46	1997 平成9	藤村正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止	
47	1998 平成10	藤村正哉 (マテリアル会長)	古村賢紀 (電機)	川崎・樺原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32	
48	1999 平成11	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分	
49	2000 平成12	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分	
50	2001 平成13	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27	
51	2002 平成14	藤村正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31	
52	2003 平成15	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20	
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止	
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23	
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9	
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイヨン)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6	
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11	
58	2009 平成21	井手明彦 (マテリアル社長)	藤田瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12	

回数	年 度	委員長	H I 盃	130才	120才	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦
59	2010 平成22	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)	近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12

注. 上表大会の開催地はすべて東京

H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社 J Xホールディングス(株)
三菱商事(株)
三菱レイヨン(株)

1. 試合会場

〔使用コート〕

〔所在地および電話番号〕

三菱東京UFJ銀行武蔵野コート	東京都西東京市柳沢4-4-40	TEL0424-61-0770
東京海上日動多摩コート	東京都八王子市別所2-57	TEL0426-77-8619
日本郵船飛田給コート	東京都調布市飛田給1-54-1	TEL0424-82-3152

2. 役員

委員長：三菱庭球同好会会長 井手明彦（三菱マテリアル）
副委員長：畔柳信雄（三菱東京UFJ銀行） 小林健（三菱商事）
西尾進路（JXホールディングス） 鎌原正直（三菱レイヨン）
同好会相談役：藤村正哉（三菱マテリアル） 岸曉（三菱東京UFJ銀行）
審判長：生川芳久（三菱化学）
副審判長：藤井道雄（三菱電機）
H. I. 盃委員：多屋昌彦（東京海上日動） 松岡信幸（三菱電機）
大地重雄（三菱化学） 坂野信（三菱東京UFJ銀行）
牧村祐一（三菱重工業） 木村博光（三菱ふそう）
佐久間浩（三菱商事） 島村健司（三菱マテリアル）
H. I. 盃地区委員：〔関東〕佐々立之（三菱東京UFJ銀行） 〔中京〕佐々木史朗（三菱電機）
〔関西〕直木隆明（三菱電機） 〔九州〕横濱克彦（三菱重工業）

3. 参加会社

旭硝子(株)	三菱アルミニウム(株)	三菱商事(株)	三菱電線工業(株)
キャタピラージャパン(株)	三菱化学(株)	三菱商事ユニメタルズ(株)	(株)三菱東京UFJ銀行
麒麟ホールディングス(株)	三菱化工機(株)	三菱伸銅(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
J Xホールディングス(株)	三菱ガス化学(株)	三菱製鋼(株)	三菱UFJ証券ホールディングス(株)
東京海上日動火災保険(株)	三菱地所(株)	三菱製紙(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
(株)ニコン	三菱自動車工業(株)	三菱倉庫(株)	三菱レイヨン(株)
日本郵船(株)	三菱重工業(株)	(株)三菱総合研究所	明治安田生命保険相互会社
(株)ピーエス三菱	三菱樹脂(株)	三菱電機(株)	三菱マテリアル(株)

4. 開催日程 *コートについては、別ページに示す。

日 程	種 目	会 場	開始時間
第 1 日 10月14日(金)	130才トーナメント1～2回戦 120才トーナメント1回戦	海上 多摩コート	※開始時間は P18～P20を ご参照下さい
第 2 日 10月15日(土)	H. I. 盃、女子ダブルス 1回戦 男子ダブルスブロック別リーグ戦 130才トーナメント3～4回戦 120才トーナメント2～3回戦	銀行 武蔵野コート 海上 多摩コート	
第 3 日 10月16日(日)	H. I. 盃、女子ダブルス準決勝・決勝戦 男子ダブルス決勝トーナメント 130才トーナメント準決勝・決勝戦 120才トーナメント準決勝・決勝戦 東西対抗試合・特別試合	銀行 武蔵野コート 郵船 飛田給コート	

〔雨天の場合〕

- ・ 10月14日(金)：添付「第1日10.14雨天中止の場合のコート時間割」の通り
- ・ 10月15日(土)：添付「第2日10.15雨天中止の場合のコート時間割」の通り
- ・ 15日(土)～16日(日)：原則、10月22日(土)にH. I. 盃及び女子ダブルスのみ行う

5. 試合方法

〔使用ボール：ダンロップフォート〕

種 目	資 格 等	方 法
(1) H. I. 盃選手権試合 (男子シングルトーナメント)	前年優勝者，地区代表 (関東3，関西2，中京・九州各1)	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(2) 女子ダブルストーナメント	前年優勝者，地区代表 (関東4，関西1，中京2)	同 上
(3) 男子ダブルストーナメント	地区代表24組によるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント (関東10，関西9，中京4，九州1)	8ゲームマッチ (8ゲームオール、7ポイントタイブレーク) 決勝戦のみ3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(4) 130才トーナメント	本年，満65才以上で合計130才以上のペアによる男子ダブルストーナメント	1セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(5) 120才トーナメント	本年，満58才以上で合計120才以上のペアによる男子ダブルストーナメント	同 上
(6) 東西対抗試合	東軍(関東以东)・西軍(中京以西) 男子各20組，女子各5組の対抗戦。	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(7) 特別試合	H. I. 盃選手権出場選手および女子ダブルス出場選手によるダブルス	2セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)

〔懇親試合〕 1セットマッチ(6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)

男子ダブルス予選敗者、120才、130才トーナメントの10月15日までの敗者は、懇親試合に参加できます。希望ペアは、10月15日に各コートの大会運営本部まで申出てください。但し、コート事情によりご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。

6. 懇親会

日 時：10月16日（日） 17:30～19:00

場 所：吉祥寺第一ホテル（8階 天平の間） TEL 0422-21-4411

（別掲懇親会会場案内図参照）

当日雨天のため試合が中止となった場合は、懇親会のみ時間を早めて16:00（予定）から開催いたしますのでご承知おき下さい。

7. その他

- (1) 関西・中京・中国・九州各地区から参加頂く方々（130オトナメント及び120オトナメント出場選手を含む）の乗車券・宿舎などについては、各所属会社もしくは各自にてご手配願います。
- (2) 各社世話役より、130才、120オトナメントに出場の選手には、10月14日（金）の試合時間の30分前までに海上コートへご参集下さるようご連絡下さい。

大会次第 10月16日（日）

1. 開 会 式（三菱東京UFJ銀行武蔵野コート）（ 8 : 0 0 ）
 - (1) 集 合
 - (2) 挨 拶 井手大会委員長
 - (3) 優勝盃・優勝旗返還 井手大会委員長
 - (4) 諸 注 意 生川審判長
2. 試合開始（使用コート時間割別表参照）（ 8 : 3 0 ）
3. 試合終了（16 : 0 0 ）
4. 閉 会 式（三菱東京UFJ銀行武蔵野コート）（16 : 0 0 ）
 - (1) 集 合
 - (2) 優勝盃・優勝旗・賞品授与
 - (3) 挨 拶 西尾大会副委員長
 - (4) 閉 会
5. 懇親会（吉祥寺第一ホテル 8階天平の間）（17 : 3 0 ）
 - (1) 井手大会委員長挨拶
 - (2) 乾 杯 鎌原大会副委員長
 - (3) H. I. 盃優勝者挨拶
 - (4) 130オトナメント優勝者挨拶
 - (5) 120オトナメント優勝者挨拶
 - (6) 女子ダブルス優勝者挨拶
 - (7) 男子ダブルス優勝者挨拶
 - (8) 最高年令出場者挨拶
 - (9) 閉 会 の 辞 小林大会副委員長
 - (10) 万 才 三 唱 藤井副審判長
6. 閉 会（解 散）（19 : 0 0 ）

以 上

出場選手へのお知らせ

1. 連絡事項

(1) 集合時間(晴雨にかかわらず)

- 第1日10月14日(金) 130才、120才・ナメトの選手は海上コートへ試合開始時刻(コート時間割)の30分前までにご参集下さい。
 - 第2日10月15日(土) 130才、120才・ナメトの選手は銀行コートへ8時30分、H. I. 盃の選手は10時、女子ダブルスの選手は12時までにご参集下さい。男子ダブルスの選手は銀行コートに10時45分、海上コートは11時30分までにご参集下さい。
 - 第3日10月16日(日) 出場の選手は銀行コートへ7時50分までにご参集下さい。
- (注) 1. 開会式は8時から銀行コートにて举行しますので極力ご参加願います。
 2. 郵船コートでの試合予定者も銀行コートにご参集下さい。
 3. 8時30分試合開始の方(郵船コートは9時30分開始)は、着替えの上ご参集下さい。

(2) 交通

- 第1日・2日は専用バスの配車はいたしません。各コートへの交通手段は以下の通りです。

[銀行コート]

中央線吉祥寺駅北口から「向台町5丁目」「桜堤団地」行き、三鷹駅北口から「武蔵境」「武蔵小金井」行き関東バスにご乗車の上、「武蔵野大学」で下車して下さい。

(所要時間：三鷹駅北口→会場 約15分、吉祥寺駅北口→会場 約25分)

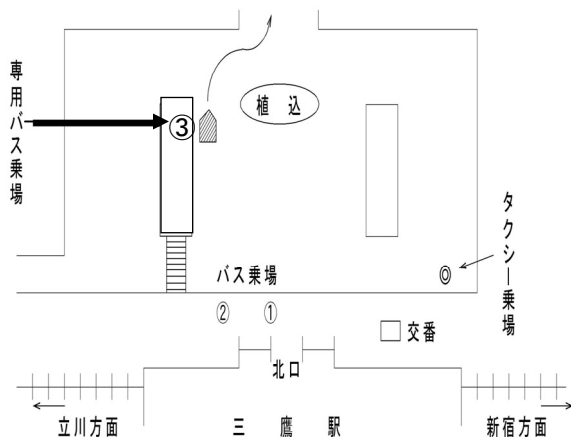
[海上コート]

京王相模原線 京王堀之内駅から「見附橋循環」の京王バス(のりば③番)にご乗車の上、「見附ヶ丘」で下車して下さい。バスの本数は、20分に1本程度です。

(所要時間：京王線堀之内駅→会場 約10分)

※京王線堀之内駅または小田急多摩線唐木田駅からタクシーの利用も可能です。

- 第3日は専用バスを運行しますのでご利用下さい。



◇ 三鷹駅北口 → 銀行コート

[乗場] 北口③番乗場「関東バスH.I.三菱」のステッカー貼付

[発車時刻] 7:20, 7:30, 7:40

◇ 銀行コート → 吉祥寺第一ホテル

[乗場] 銀行コート正面入口ロータリー

[発車時刻] 16:40 銀行コート→吉祥寺駅→

吉祥寺第一ホテル(関東バス2台)

16:50 銀行コート→吉祥寺第一ホテル

(マイクロバス2台)

17:00 同上(関東バス1台)

(3) 駐 車 場

- マイカーでのご来場は厳禁です。車でおいでになっても駐車出来ませんのでご注意ください。
- 近隣対策上、また当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んで下さい。
- 銀行コート駐車場の使用は、各社役員、来賓、大会役員の車に限定します。

(4) コート間の連絡バス

- 銀行・郵船コート間の選手の移動については、下記の通り専用バスを配車します。
- 9時30分より郵船コート試合開始の選手は、銀行コートでの開会式後にマイクロバスをご利用下さい。銀行コート8：30発（所要時間は約30分）
- その後の銀行コート・郵船コート間の配車（マイクロバス）
 - ◇銀行コート発 9：30, 10：30, 12：00, 12：30
 - ◇郵船コート発 9：30, 11：00, 11：30, 13：00, 14：00

(5) 昼 食

- 第1日は、昼食の準備はありません。各自ご準備ください。
- 第2日、第3日の両日は準備いたします。（選手及び大会運営役員）
各コートに設置している弁当お渡し所から適宜お持ち下さい。
ジュースの空カン・ゴミは所定の場所にお捨て下さい。

(6) 更 衣 室

- 第3日の出場選手は全員銀行コート更衣室で更衣願います。（郵船コートは更衣室の用意は致しません。）なお、使用に関しては係員の指示に従って下さい。
銀行コートは、今年度よりロッカーのご利用ができませんのでお荷物は各自で管理して下さい。

(7) 記 念 撮 影

- 閉会式終了後、H. I. 盃、女子ダブルスの出場者、男子ダブルストーナメント、130オトナメント、120オトナメントの優勝・準優勝者、東西対抗主将並びに大会役員の方々の記念撮影を行ないます。

(8) 参 加 費

- 関東地区の参加者は3,000円、関西地区は1,000円、130オトナメント、120オトナメントは3,000円を参加費として後日徴収致しますのでご了承下さい。

2. 試合上の注意事項

- (1) 試合進行は時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますので、予め試合進行掲示板にてご確認下さい。近隣対策上、試合前の選手の呼び出し（場内アナウンス）は致しませんのでご注意ください。尚、個人のご都合による時間割の変更は受け付けませんのでご了承下さい。

(2) 練習時間は、試合進行上3分以内と致しますので厳守願います。

(3) 試合コートにおいては係員の指示に従って下さい。

3. 審 判

(1) H. I. 盃、女子ダブルス、男子ダブルス、130才、120才トーナメントの決勝はコールアンパイアがつきま
すが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力下さい。

(2) 試合結果は、勝者がスコアカードに記入の上ボールと一緒に大会本部まで届けて下さい。

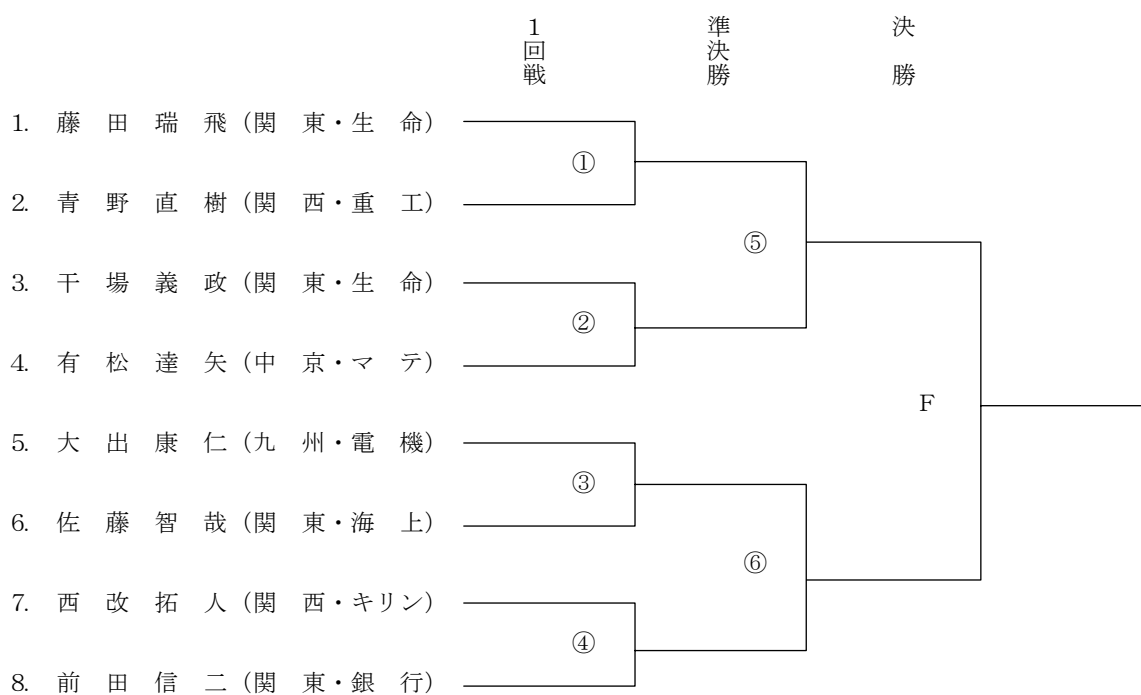
4. その他注意事項

(1) 近隣対策上、「バス発着」の場内アナウンスを行いませんので、専用バスをご利用になる方は
事前に大会プログラム、あるいはバス発着場、大会本部前に掲示してある「連絡バス発着時刻」
をご確認下さい。

(2) DEFの場合はお早めに（遅くとも大会初日の2日前までに）、自社の本年度H. I. 盃準備委
員（連絡窓口）までご連絡下さい。

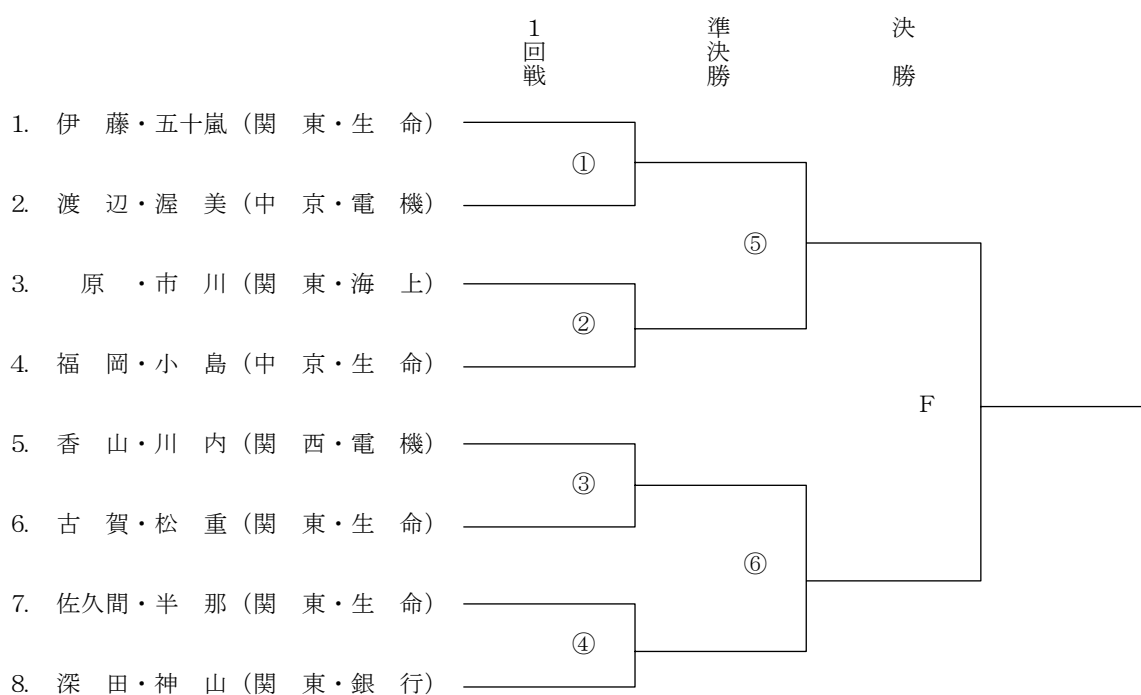
H. I. 盃 男子シングルス

3セットマッチ（6オールの場合、7ポイントタイブレーク）



女 子 ダ ブ ル ス

3セットマッチ（6オールの場合、7ポイントタイブレーク）

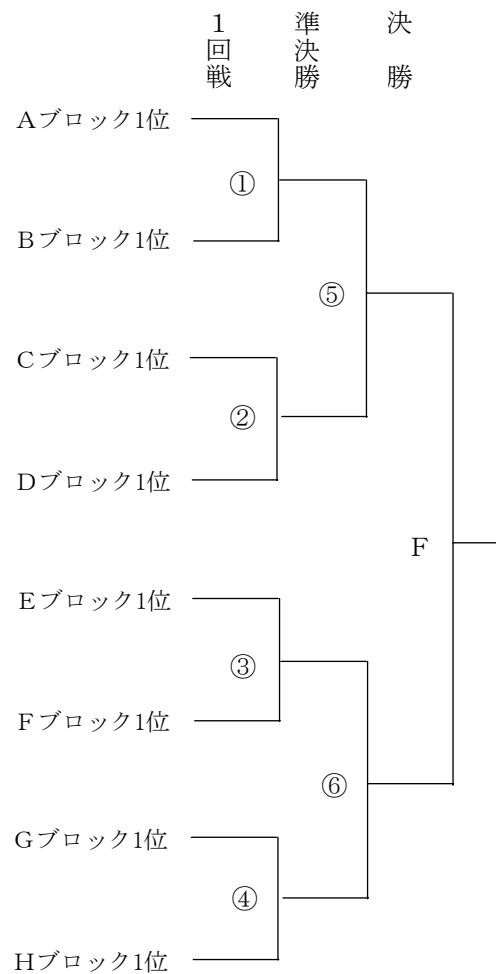


男子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	苫田・尾崎 (関東・化学)
	2	佐々野・渡辺 (関東・キリン・化学)
	3	鈴木・金村 (関西・重工)
Bブロック	1	古村・寺内 (関東・商事・海上)
	2	城山・國盛 (関東・郵船)
	3	成瀬・磯部 (中京・自動車)
Cブロック	1	二村・田元 (関東・生命)
	2	小山・岩田 (関西・電機)
	3	天清・田中 (関西・電機)
Dブロック	1	瀧沢・高祖 (関西・電機)
	2	星村・狩谷 (関東・生命)
	3	安徳・加藤 (中京・自動車)
Eブロック	1	佐々木・安嶋 (関東・商事)
	2	田村・佐藤 (関東・商事)
	3	栗山・小林 (中京・マテリアル・電機)
Fブロック	1	高柳・安部 (関東・海上)
	2	山田・別所 (関西・海上)
	3	西川・泉水 (関西・化学)
Gブロック	1	重光・牟田 (関東・商事)
	2	佐藤・多田 (関西・化学)
	3	黒田・酒谷 (中京・電機)
Hブロック	1	吉岡・笹谷 (関西・電機)
	2	松永・森永 (関西・重工)
	3	新井・吉田 (九州・重工)

決勝トーナメント



ブロック別リーグ戦の1試合目は、各ブロックの1-2が対戦。これを時間割では①と表示します。2試合目は1-3の対戦（時間割の表示は②）、3試合目は2-3の対戦（時間割の表示は③）です。

【ブロック別リーグ戦】

		時間割の表示
1試合目	A 1 - A 2	A①
2試合目	A 1 - A 3	A②
3試合目	A 2 - A 3	A③

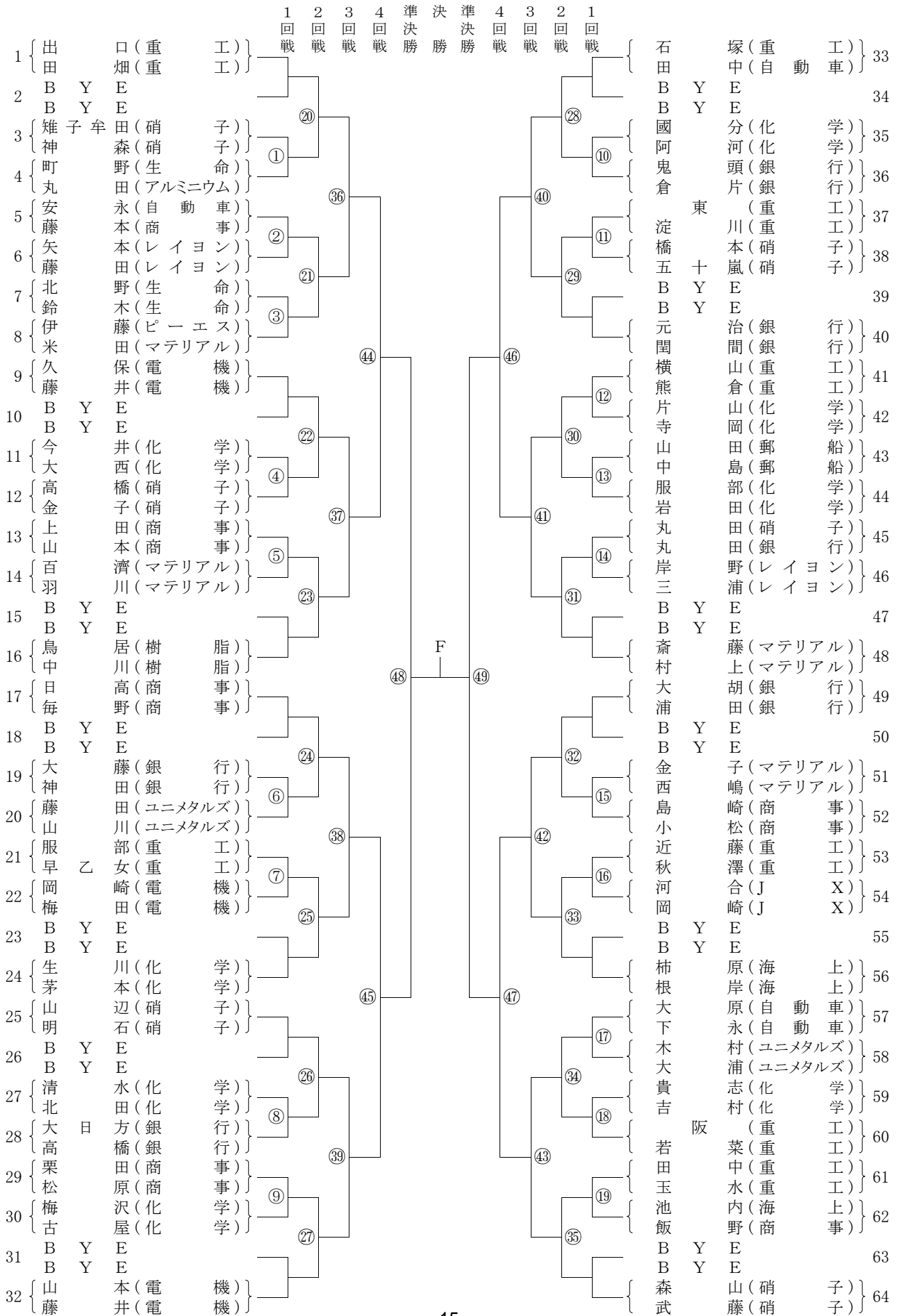
男子ダブルスブロック内順位について

- ① ブロックリーグ戦において、最も勝率の高い組を1位とする。
- ② 3組が1勝1敗で並んだ場合は、取得ゲーム率（取得ゲーム数/全得失ゲーム数）をもってブロック1位を決定する。
- ③ 3組とも取得ゲーム率同率で並んだ場合は、大会運営本部にて順位決定方法を協議する。

※ 取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。（例：A対Bの試合で、Aから3-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが8-5で勝利したとして計算する。）

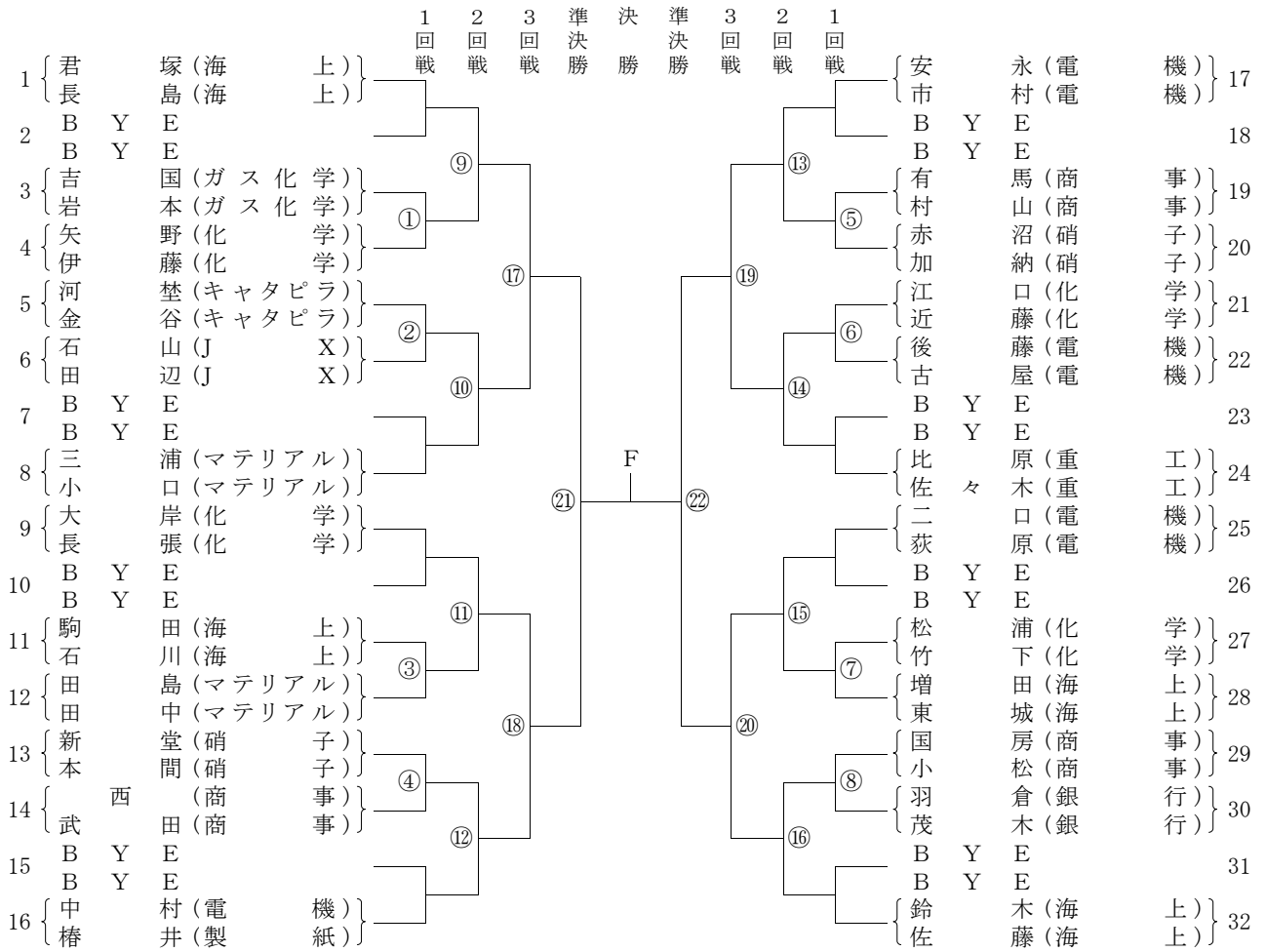
130 オトーナメント

1セットマッチ (6オールの場合, 7ポイントタイブレーク)



120 オトーナメント

1セットマッチ (6オールの場合, 7ポイントタイブレーク)



東西対抗試合

3セットマッチ（6ゲームオールの場合、7ポイント タイブレーク）

<男子ダブルス>

	東 軍		西 軍
1.	{ 大地 (化学) }	—	{ 守屋 (重工) }
	{ 杉本 (化学) }		{ 今井 (重工) }
2.	{ 多屋 (海上) }	—	{ 山崎 (重工) }
	{ 山室 (海上) }		{ 東 (重工) }
3.	{ 牧村 (重工) }	—	{ 八木 (レイヨン) }
	{ 間野 (重工) }		{ 大谷 (レイヨン) }
4.	{ 木村 (電機) }	—	{ 村上 (海上) }
	{ 遠藤 (電機) }		{ 赤松 (海上) }
5.	{ 今西 (商事) }	—	{ 鈴木 (銀行) }
	{ 佐久間 (商事) }		{ 井上 (銀行) }
6.	{ 松岡 (電機) }	—	{ 前田 (自動車) }
	{ 後藤 (電機) }		{ 越野 (自動車) }
7.	{ 坂野 (銀行) }	—	{ 五百蔵 (電機) }
	{ 山岸 (銀行) }		{ 瀬野 (電機) }
8.	{ 戸田 (化学) }	—	{ 井上 (レイヨン) }
	{ 内山 (化学) }		{ 牧野 (レイヨン) }
9.	{ 高橋 (生命) }	—	{ 久本 (化学) }
	{ 引村 (生命) }		{ 戸田 (化学) }
10.	{ 藤原 (自動車) }	—	{ 垂水 (重工) }
	{ 福原 (自動車) }		{ 巨島 (重工) }
11.	{ 山高 (ガス化学) }	—	{ 行成 (電機) }
	{ 杉本 (ガス化学) }		{ 河野 (電機) }
12.	{ 荒川 (キリン) }	—	{ 藤井 (電機) }
	{ 足海 (キリン) }		{ 岡田 (電機) }
13.	{ 木村 (ふそう) }	—	{ 服部 (電機) }
	{ 武井 (ふそう) }		{ 石原 (電機) }
14.	{ 上家 (海上) }	—	{ 石井 (電機) }
	{ 高橋 (海上) }		{ 長尾 (電機) }
15.	{ 前田 (地所) }	—	{ 井上 (電機) }
	{ 伊藤 (地所) }		{ 加藤 (電機) }
16.	{ 中村 (信託) }	—	{ 岡田 (電機) }
	{ 北沢 (信託) }		{ 白村 (電機) }
17.	{ 篠浦 (樹脂) }	—	{ 吉橋 (電機) }
	{ 村岡 (樹脂) }		{ 吉田 (電機) }
18.	{ 鈴木 (J X) }	—	{ 辻村 (レイヨン) }
	{ 海野 (J X) }		{ 宮城 (レイヨン) }
19.	{ 佐藤 (化工機) }	—	{ 別府 (電機) }
	{ 菅原 (化工機) }		{ 富永 (電機) }

	東 軍		西 軍
20.	{ 中原 (商事) }	—	{ 吉田 (マテリアル) }
	{ 本山 (商事) }		{ 加藤 (マテリアル) }

<女子ダブルス>

	東 軍		西 軍
1.	{ 橋本 (銀行) }	—	{ 吉村 (電機) }
	{ 鈴木 (銀行) }		{ 帆山 (重工) }
2.	{ 三橋 (生命) }	—	{ 牧野 (電機) }
	{ 野村 (生命) }		{ 久嶋 (電機) }
3.	{ 加藤 (商事) }	—	{ 鳥海 (電機) }
	{ 北村 (商事) }		{ 中尾 (電機) }
4.	{ 越場 (ふそう) }	—	{ 海野 (商事) }
	{ 藤原 (ふそう) }		{ 小寺 (商事) }
5.	{ 山中 (生命) }	—	{ 神原 (海上) }
	{ 内田 (生命) }		{ 松本 (海上) }

H. I. 盃・全三菱庭球大会コート時間割

第1日(10. 14)時間割

		海 上					
コートNo. 時間	1	2	3	4	5	6	
10:30	130才 (1回戦)				120才 (1回戦)		
	①	②	③	④	①	②	
11:15	130才 (1回戦)				120才 (1回戦)		
	⑤	⑥	⑦	⑧	③	④	
12:00	130才 (1回戦)				120才 (1回戦)		
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑤	⑥	
12:45	130才 (1回戦)				120才 (1回戦)		
	⑬	⑭	⑮	⑯	⑦	⑧	
13:30	130才 (1回戦)			130才 (2回戦)			
	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	
14:15	130才 (2回戦)						
	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	
15:00	130才 (2回戦)						
	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	
15:45	130才 (2回戦)						
	㉟	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	
16:30	130才 (2回戦)						
	㊶						

10月14日が雨天の場合、添付の「第1日10.14雨天中止の場合のコート時間割」の通り大会を行います。

H. I. 盃・全三菱庭球大会コート時間割
 第2日(10.15)時間割

コートNo. 時間	銀 行								海 上			
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
9:00	130才 (3回戦)								/			
9:45	③⑥	③⑦	③⑧	③⑨	④⑩	④⑪	④⑫	④⑬				
10:30	120才 (2回戦)											
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				
11:15	H. I. 盃 (1回戦)				130才 (4回戦)							
	①	②	③	④	④④	④⑤	④⑥	④⑦				
12:00	男子ダブルス (ブロック別)				男子ダブルス (ブロック別)							
					B①	C①	D①	E①				
12:45	120才 (3回戦)				男子ダブルス (ブロック別)							
	⑰	⑱	⑲	⑳	B②	C②	D②	E②				
13:30	女子ダブルス (1回戦)				男子ダブルス (ブロック別)							
	①	②	③	④	B③	C③	D③	E③				
14:15	男子ダブルス (ブロック別)				男子ダブルス (ブロック別)							
					A③	F③	G③	H③				
15:00												

10月15日が雨天の場合、添付の「第2日10.15雨天中止の場合のコート時間割」の通り大会を行います。

H. I. 盃・全三菱庭球大会コート時間割
第3日(10. 16)時間割

	銀 行								郵 船					
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	
8:00	開 会 式													
:30	H. I. 盃 (SF)		女子 ダブルス (SF)		男子ダブルス (1回戦)									
9:00	⑤	⑥	⑤	⑥	①	②	③	④	東西対抗					
:30					130才 (SF)		120才 (SF)							
10:00					④⑧	④⑨	②①	②②	⑨	⑩	⑪	⑫	⑭	
:30	男子		東西対抗				東西		東西対抗					
11:00	ダブルス(SF)		①	②	③	④	⑤	女子	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
:30	⑤	⑥					③							
12:00	130才 (F)	120才 (F)	記念 試合		東西対抗				東西対抗					
:30			⑥	⑦	⑧	⑬	⑳	女 子						
13:00	特別試合													
:30	男子	女子												
14:00	H. I. 盃 (F)	女子 (F)		男子 (F)										
:30														
15:00														
:30														
16:00	閉 会 式													
:30														
17:00														
:30														
18:00	懇 親 会													
:30														
19:00														
:30														
20:00														

注1. H. I. 盃選手権及び女子複は3セットマッチとします。ただし、6ゲームオールの場合は、7ポイントのタイブレークとします。

2. 130才及び120才トーナメントは1セットマッチとします。ただし、6ゲームオールの場合は、7ポイントのタイブレークとします。

3. 男子複は、1回戦と準決勝は8ゲームマッチとします。ただし、8ゲームオールの場合は、7ポイントのタイブレークとします。決勝は、3セットマッチとします。ただし、6ゲームオールの場合は、7ポイントのタイブレークとします。

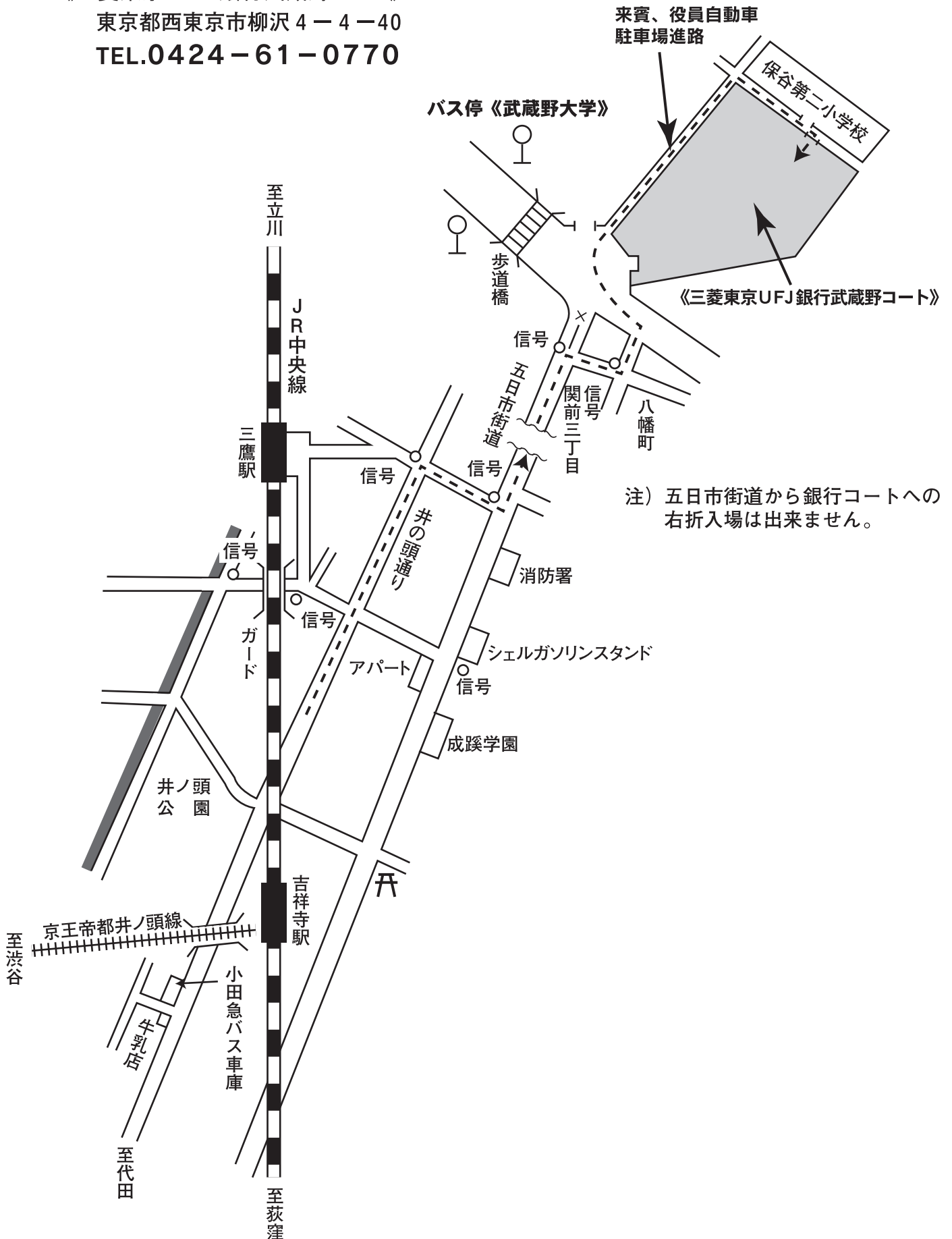
4. 東西対抗は3セットマッチとします。ただし、6ゲームオールの場合は、7ポイントのタイブレークとします。

5. 男子複の10月15日ブロック別リーグ戦の敗者と130才及び120才トーナメントの10月15日までの敗者は、懇親試合に申し込むことができます。出場希望のペアは、10月15日に銀行コートまたは海上コートの大会運営本部まで申し出てください。ただし、コート事情によりご希望に沿えない場合がありますので、ご了承ください。

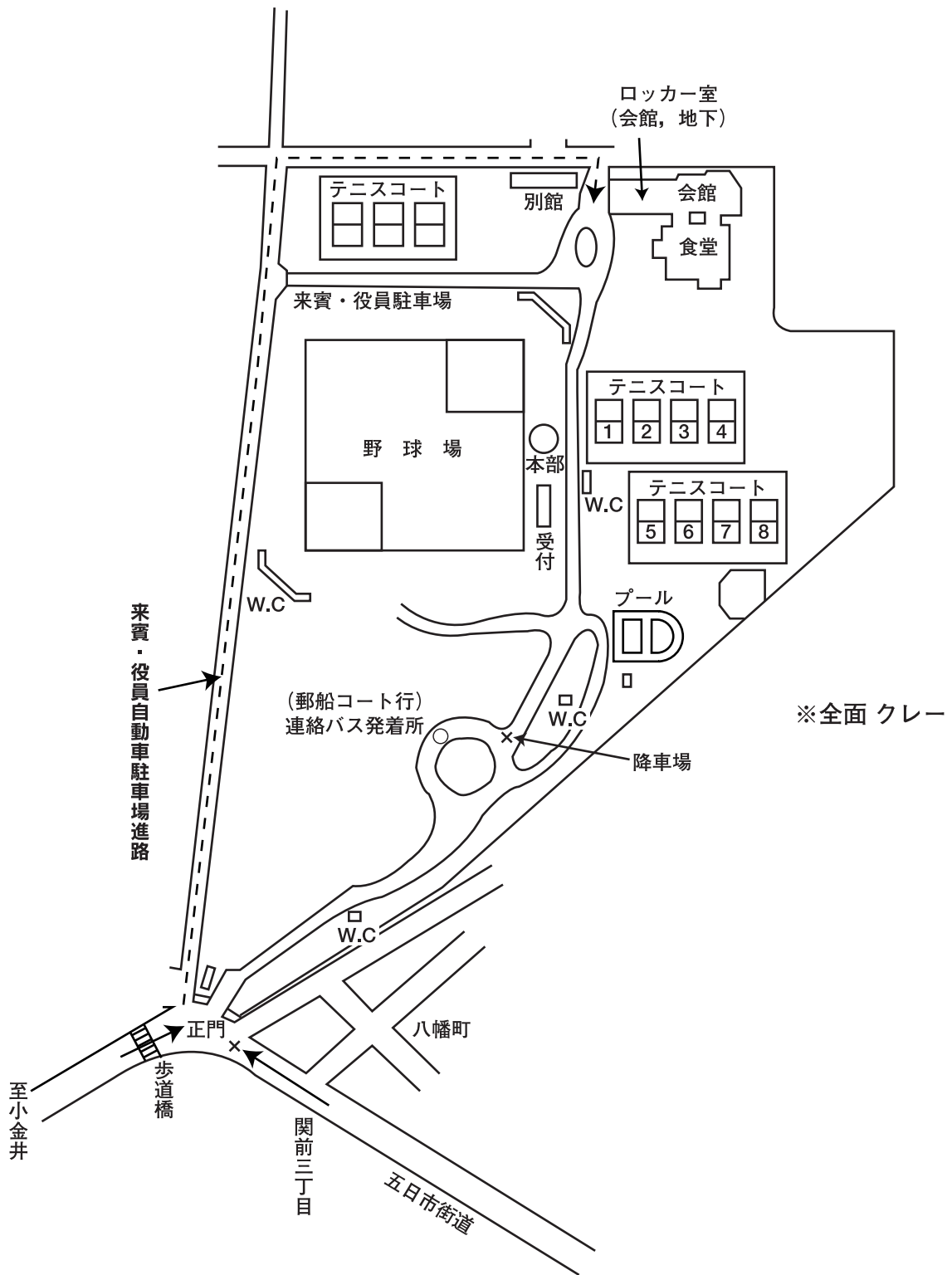
6. 天候及びその他やむを得ない事由により、コート割・時間割を変更することがあります。

大会会場案内図(1)

《三菱東京UFJ銀行武蔵野コート》
 東京都西東京市柳沢4-4-40
 TEL.0424-61-0770



《三菱東京UFJ銀行コート》見取図

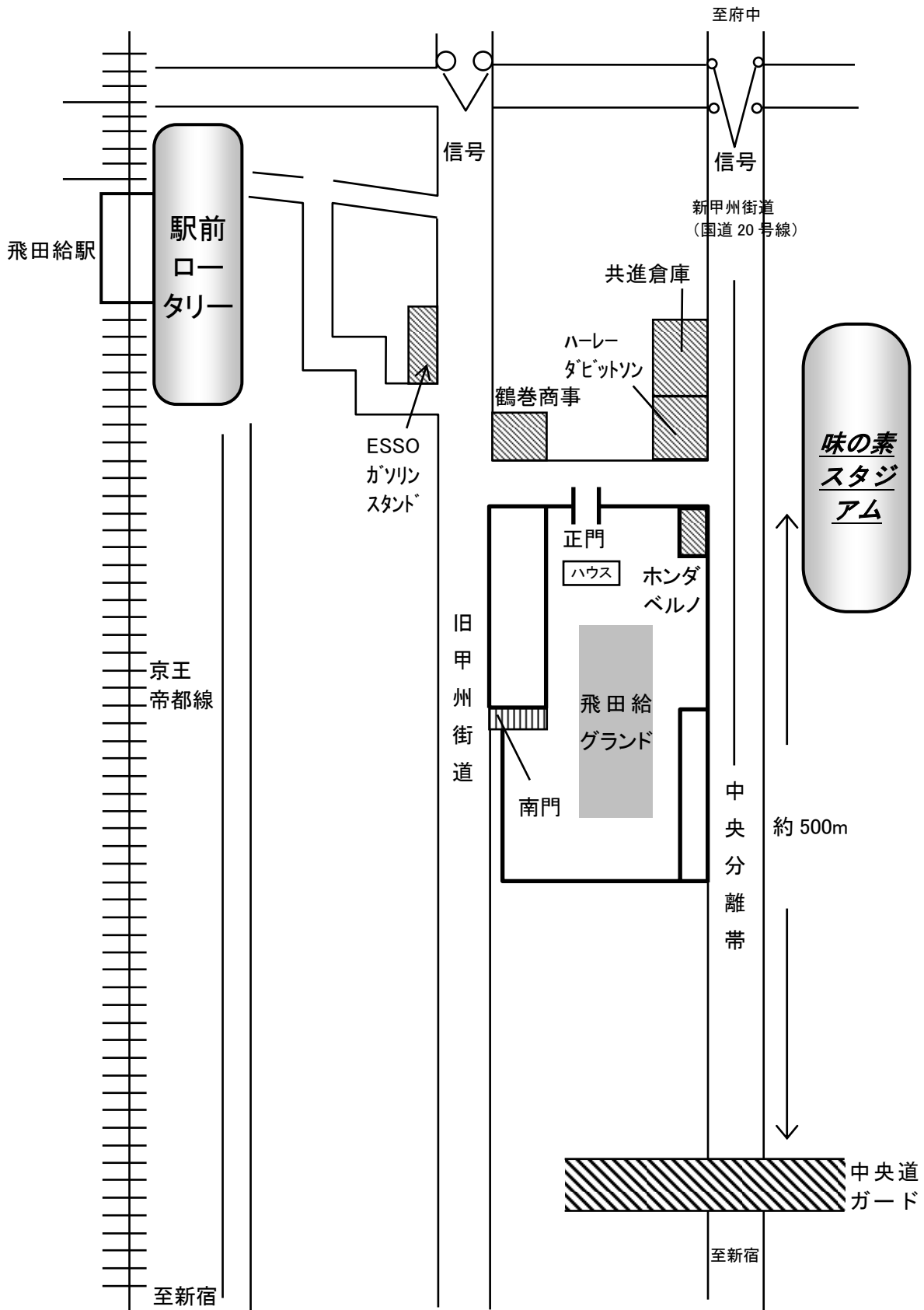


大会会場案内図 (2)

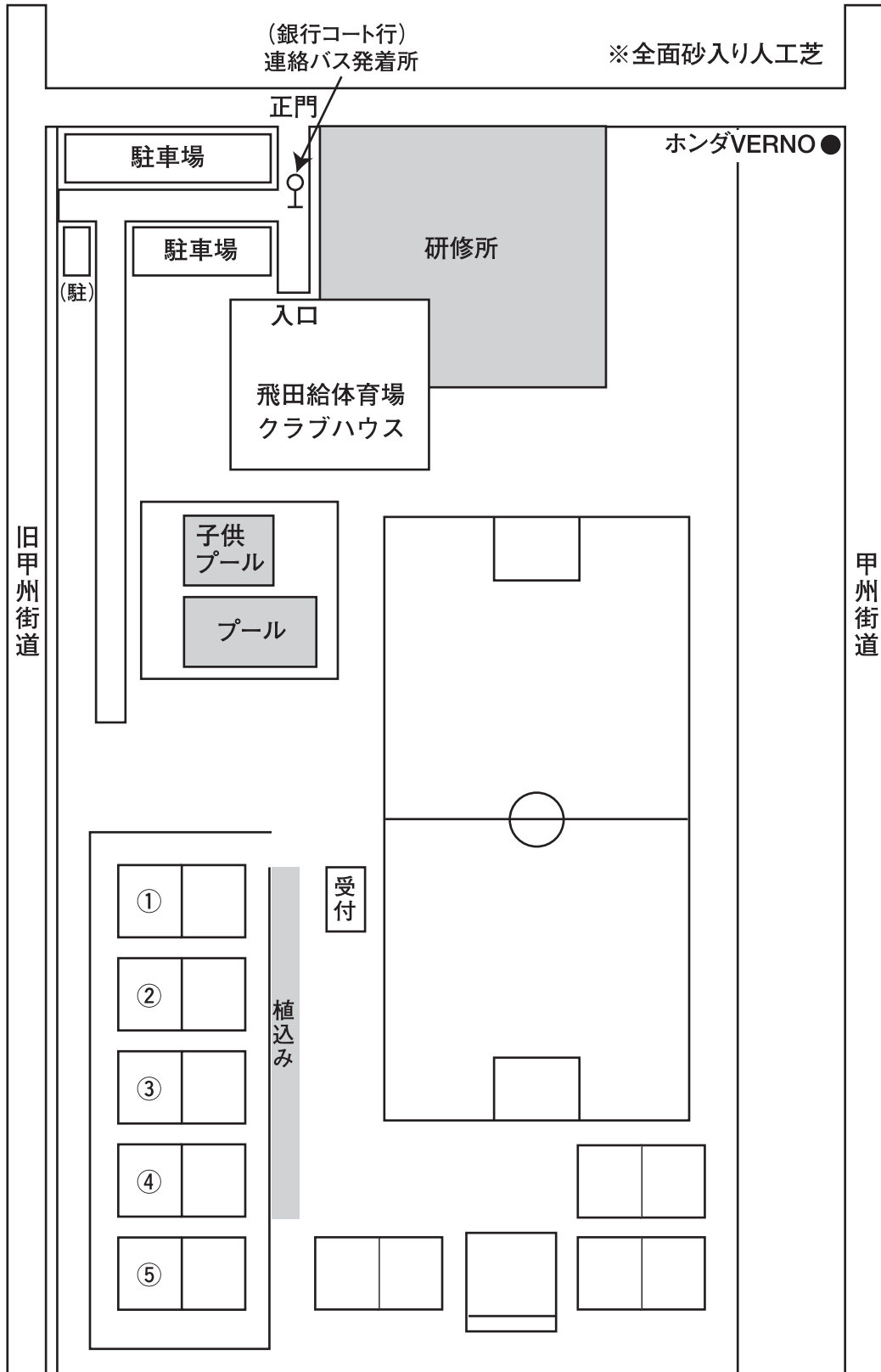
日本郵船飛田給コート

調布市飛田給 1-54-1 TEL 0424-82-3152

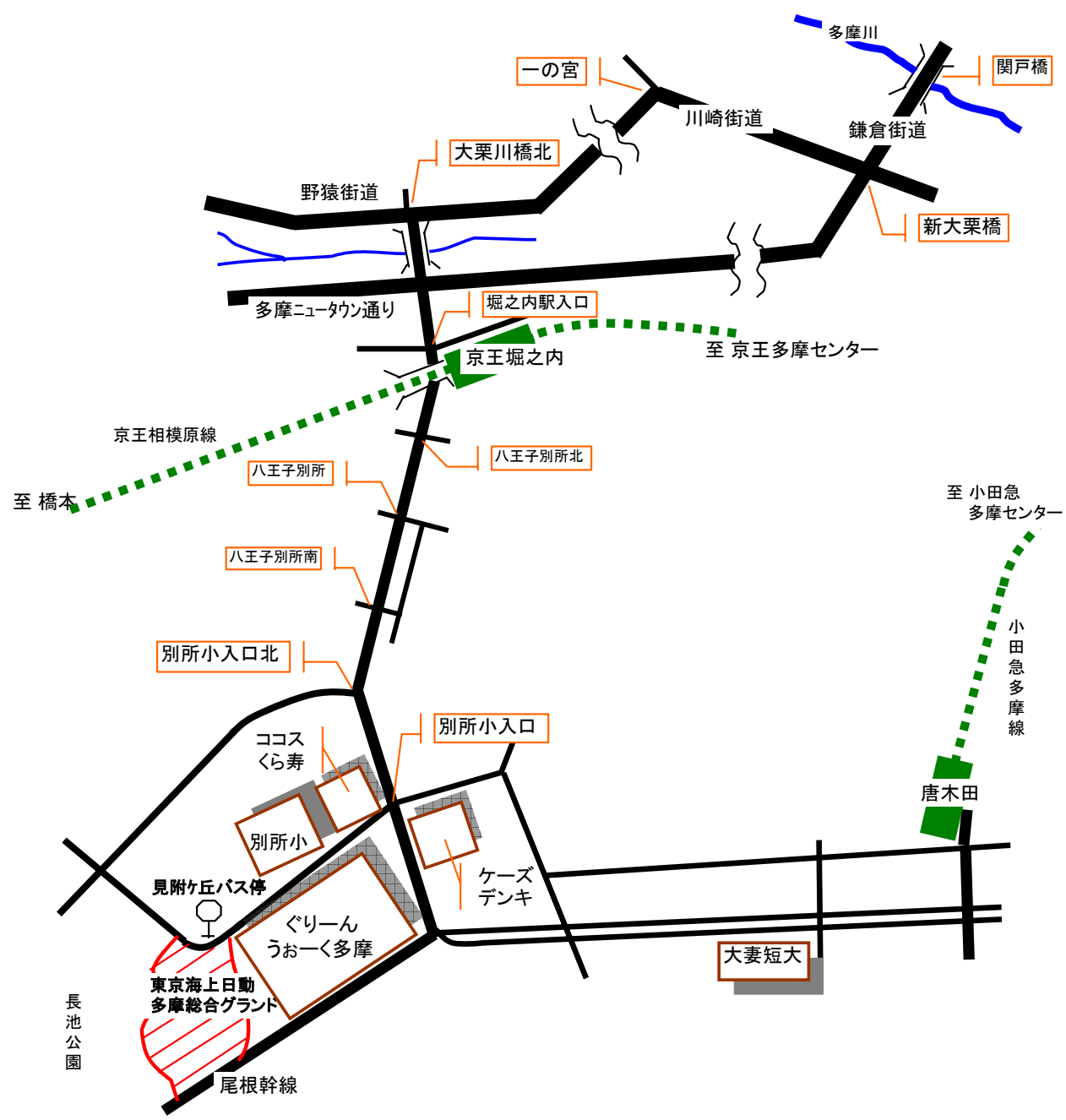
(飛田給駅下車徒歩約5分)



《日本郵船飛田給コート》見取図



東京海上日動多摩総合グランド案内図



【所在地・連絡先】

〒192-0363
 八王子市別所2-57(管理人:萩原光一)
 TEL 0426-77-8619
 FAX 0426-77-8620

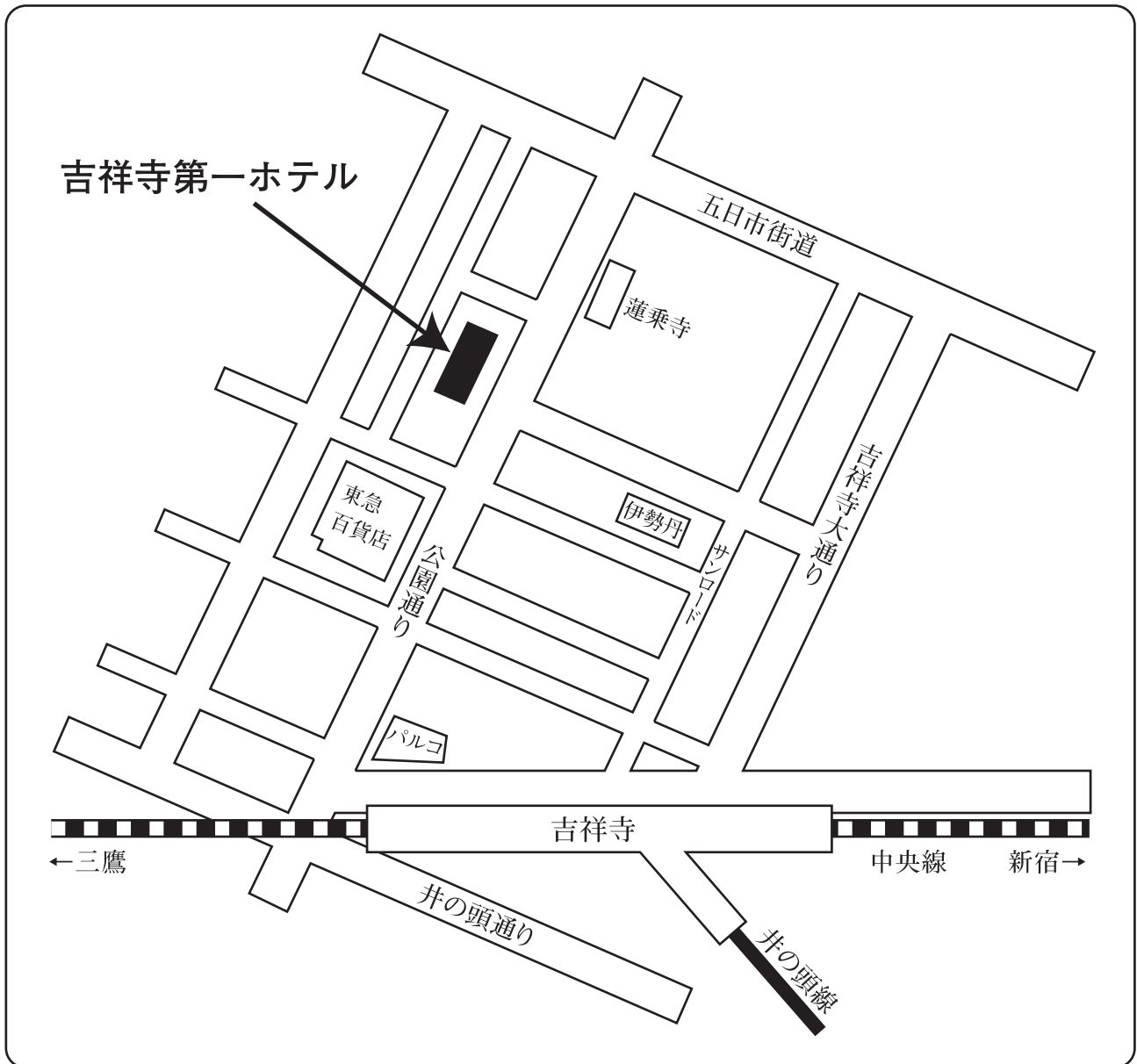
【交通機関】

- ① 京王相模原線「京王堀之内」駅より
 バス(「見附橋循環」のりば④番)にて「見附ヶ丘」下車
- ② 京王相模原線「京王堀之内」駅または
 小田急多摩線「唐木田」駅よりタクシー

懇親会会場案内図

(吉祥寺第一ホテル 天平の間)

TEL. 0422-21-4411



一般の方の駐車場は特に用意していませんので御了承下さい。

お知らせ

大会当日プログラムを配布しませんので、
本冊子を大会当日ご持参ください。